

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス とらいあんぐる			公表日	2025年2月13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		グループ分けして場所を分散することで活動に必要な広さを確保している。	賃貸の古民家であるため、部屋は細かくくぎられ、必ずしも広くはない。死角になりやすいスペースもある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		プログラム、活動の内容や順番を工夫することで、支援不足とならないよう工夫している。	基準の配置は満たしているが、日によっては支援が必要な利用者に対して十分とはいえない配置のことがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	5	カードなどを使った視覚支援、日常生活動作の流れがわかりやすい動線配置など心掛けています。	バリアフリー化は出来ていない。現在移転を計画中。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	毎日の清掃・整理を実施することで清潔に保っている。	建物の築年数のこともあり、砂や木片については清潔とは言い難い部分もある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		メインの部屋とは別に小部屋3つを活用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		常に業務改善を意識して職員間のコミュニケーションをとっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		評価表の回収後、職員間で内容について周知し、問題点と改善点について話し合いを行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		1月に1回の職員会議及び毎日のミーティングで意見交換している。毎日の朝礼や事前ミーティングでも情報共有を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		現在第三者による評価を受けることができていない。（「はい」と答えた職員は監督指導と思っていた）
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		外部の研修と内部の研修を行っている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		毎月のプログラム会議で支援プログラムを検討している。強度行動障害・専門的支援の計画書も作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		個々にスキルシートを作成し、半年に一度見直しを行って、そちらに基づき支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		支援計画作成会議では子供に携わる職員が出来る限り参加している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援計画作成後は職員に周知し、事前ミーティングで確認するよう心掛けている。	事前ミーティングが行えない日などに、細かな情報共有が難しいことがある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		共通のスキルシートを活用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		月に一度のプログラム会議を行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		個別のプログラムは個々の特性に応じて課題を設定できるよう心掛けています。	集団プログラムはある程度固定化することで、繰り返しの経験による成功体験の習得を目指している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		日々のプログラムの中に集団活動の時間と個別活動の時間を設定しています。集団活動も各人に対応して大集団や小集団に分けています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼と事前ミーティングで情報共有を行っている。	事前ミーティングが行えない日などは全体lineで情報共有を行っているが、細かな意見交換などが難しい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		振り返りについては翌日の朝に行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		litalicoのソフトを使用し、事業所外でも支援に対する記録が出来、支援記録をいつでも見返せるようになっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		最長6ヶ月に一度はモニタリングを実施して、支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		出来る限り選択できることでは子供たちの決定を尊重できるよう心掛けています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		それぞれの利用者さんに担当を定め、担当児発管もしくは担当指導員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1		学校からの情報配信など、もう少し密な連絡がとれるよう環境整備が必要と感じている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	5		情報共有が出来ていない所が多い。今後相互理解に努めたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4		今年度は児童発達センターとの連携はあまりなかった。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		他の子どもたちと活動する機会を設けることは出来ていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	5		過去に参加したことはあるが、今年度は参加していない。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時に出来るだけ詳しく伝えあえるよう保護者の方との関係づくりに努めています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	7		現在行えていない。今後対応を検討中です。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時の説明と年度初めに変更点、留意点等についてお報せを配布しています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		設けています。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		同意をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		定期的なモニタリングに加え、ご家族から要望があれば場を設けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	6	事業所のイベントにご家族で参加してもらうことで、わずかですが交流の場を設けています。	父母の会、兄弟の会などの場を設けることは現在出来ていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		閲覧規制をかけたブログでデイでの活動の様子をお知らせしている。行事予定等については保護者様とのグループlineで詳細にお伝えしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報取り扱いについての研修を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		招待するには至っていませんが、地域の方に協力していただき、ハロウィン行事などを行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		食物を提供する際にはダブルチェックを行うなど、対応に努めています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全マニュアル作成に向けて職員と会議を重ねている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ひやりはっと事案が起きた時には文章で職員間で周知し、月一度の職員会議で再発防止について話し合っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		年に一度虐待防止についての研修を行い、月に一度虐待防止委員会で話し合いを行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		月に一度は身体拘束防止委員会を設定し、対象児童について話し合い、保護者についても説明を行っている。		